

地元産品の「展示館」中止に

商工会「2市議が市に圧力」

東久留米市商工会が市役所ロビーの一角を借り、10月に開設予定だった地元産品の「商工業展示館」計画が中止された。商工会は大規模スーパー出店計画をめぐり、一部の市議から「反対する団体に貸すな」などと市に「圧力」がかかったと説明するが、市側は14日の市議会でこの指摘を全面否定。言い分はかみ合わない。商工業振興で協調してきた市と商工会に不協和音が生じている。

(松村康史)

市側「調整の時間ほしい」

東久留米 イオン出店巡りさざ波

商工会によると、市役所ロビーの使用を要望し、2月に市長から承認された。地元の商工業品をPRする「くるめ逸品事業」の一環として位置づけ、準備をすすめていた。ところが7月23日になって、市産業振興課から「市議2人からクレームがあった。準備を一時停止するように」と電話があったという。

のは認められない」などと言ったと商工会は説明する。これに対して、市幹部らはこうした説明を全面的に否定する。産業振興課は「市議からは、ほかの団体に貸した例がないなどとして説明を求められた。これまで市議会に説明してこなかったことから、商工会には調整の時間がほしいと言っただけだ」と反論。イオン関連の発言はなかったとしている。

商工会は、市が誘致しているスーパーのイオン出店計画に反対している。市議らは出店賛成派で、「市の補助金団体なのにイオンに反対している商工会に貸す

人」は取材に対し「コメントできない」としている。

小学校統廃合を 持ち回りで決定

東久留米 議会で批判

東久留米市立第八小学校の統廃合問題で、市教育委員会が従来の方針を改め、周辺3校に分散統合する計画を決めた際、市教委の正規の会議にか

けていなかったことが市議会で明らかになった。文書を回す「持ち回り」で了承されたという、14日の議会で「手続き上問題だ」との批判が出た。

市によると、8月16日、市教委の定例会が開かれたが、提案が間に合わず、その日の夕方以降、文書を持って5人の委員に内容を説明し、承認された。市教委の規則には定例会と臨時会はあるが、持ち回りの規定はないという。市は関連する補正予算案を9月市議会に提出するため、改めて臨時会を開く時間なかったという。

降、文書を持って5人の委員に内容を説明し、承認された。市教委の規則には定例会と臨時会はあるが、持ち回りの規定はないという。市は関連する補正予算案を9月市議会に提出するため、改めて臨時会を開く時間なかったという。